

6. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (東海)	◎	商店街（代表者）	・周囲の知り合いは羽振りが良く、株価も上がっている。全体的に何もかも上向きの印象を受ける。
	◎	一般小売店〔土産〕（経営者）	・旅行客の動きが増えており、この傾向は続く見込みである。
	◎	タクシー運転手	・ガソリン価格の値下げだけでも希望が持てるが、その他の政策も期待ができる。
	○	商店街（代表者）	・現政権の経済対策に期待している。
	○	一般小売店〔結納品〕（経営者）	・例年3月～4月頃は忙しくなるため、やや良くなる見込みである。
	○	百貨店（営業担当）	・積極財政の影響により株高に進む。
	○	百貨店（販売促進担当）	・衆議院選挙の効果で景況感がますます上向き、消費も若干向上する。
	○	スーパー（経営者）	・消費税の減税に期待する。
	○	コンビニ（店長）	・ガソリン価格が安くなったことは実感する。食品の値上げも落ち着いており、消費者も慣れてきた。景気が上向くことを期待する。
	○	コンビニ（店長）	・ガソリン代が明らかに安くなっているため、少し明るい景況感がみえる。
	○	家電量販店（フランチャイズ経営者）	・エアコンの2027年問題で駆け込み需要が期待できる。半導体不足で家電全般で値上げ傾向であるため、早めの買換えが発生している。
	○	家電量販店（営業担当）	・政治が動いて、景気は少し良くなる。
	○	その他専門店〔貴金属〕（経営者）	・衆議院選挙後の国内情勢の動向や消費税減税の推進具合、また、為替の円高への進行具合により、大きく変動が見込まれる。
	○	一般レストラン（スタッフ）	・衆議院選挙結果にかかわらず、先行きは良くなる。
	○	都市型ホテル（総支配人）	・春の行楽シーズンに期待するが、宿泊予約はこれから増加する見込みである。日中関係の影響もありインパウンドの動向が気になる。宴会はコロナ禍以降、中規模の忘年会や新年会や歓送迎会が弱い傾向にある。レストランは、3月～4月の季節需要に期待する。
	○	旅行代理店（経営者）	・海外業務が活発になっている様子で、8月までの受注は堅調な見込みである。
	○	旅行代理店（経営者）	・衆議院選挙が終われば、我が国の経済は落ち着く。
	○	旅行代理店（経営者）	・天候が暖くなり、次の旅行の準備を始めるシーズンである。大型連休も控えているため、早めの計画を推進していく。また、夏休みシーズンの計画には、空路利用も増えてくる時期であるため、早期予約が価格にも大いに影響することをアピールしていく。インパウンドの影響により値段が下がることはない。
	○	通信会社（企画担当）	・世界情勢の先行きに不安はあるが、現政権の政治姿勢が明るい未来への期待感を持たせる。
	○	その他レジャー施設〔鉄道会社〕（職員）	・寒波により十分な雪量となったため、今後に期待する。
	○	美容室（経営者）	・年末にパーマを掛けた客が、2～3月に掛け直しに来店するため、多少は忙しくなる。
	○	住宅販売会社（従業員）	・ここまで不安要素も少ないため、3月は期末特別価格対応などで一気に購入意欲に火がつくと予想する。ただし、衆議院選挙の結果次第で激変の月になる可能性もある。
	□	商店街（代表者）	・現状の飽和状態のまま推移すれば、高値で安定する。
	□	一般小売店〔生花〕（経営者）	・物価高が収まるまでは厳しい状況が続く。
	□	一般小売店〔酒類〕（経営者）	・値上げが進み、飲食店への来客が減っていることから、アルコールやソフトドリンクの販売も悪くなる見込みである。
	□	一般小売店〔果物〕（店員）	・3か月ほどでは変わらない。

<input type="checkbox"/>	百貨店（総務担当）	・衆議院選挙において消費税減税が焦点となっているが、実施はまだ先である。今年の賃上げや一時金は前年以上の規模にはならない見込みで、製造業を中心とした本地域では製造業の動向が懸念される。衆議院選挙の影響により消費者の行動は読めない。
<input type="checkbox"/>	百貨店（企画担当）	・株高や金の高騰などに合わせる形で、高額品の動きは好調を維持している反面、物価高の影響を受けてか食料品の動きがやや鈍くなっている。数か月先については、衆議院選挙後の経済対策の内容とその実施タイミングにより大きく左右されるため、判断が難しい。
<input type="checkbox"/>	百貨店（営業担当）	・インバウンドは減少しているが、全体としては来客数の減少はみられないため、今のままで進んでいく。
<input type="checkbox"/>	百貨店（販売担当）	・文具雑貨ブームにより来客数が大幅に増加し、他の商品も売上が微増している。
<input type="checkbox"/>	百貨店（営業企画担当）	・来客数が減少し、単価上昇の傾向が続く見込みである。
<input type="checkbox"/>	百貨店（販売担当）	・価格改定の反動や物価高の影響が懸念されることから、今後は現状維持の見込みである。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	・ガソリン価格の値下げがあり米の価格も下がってきてはいるが、所得が急激に増えているわけではないため消費者の生活は変わっていない。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店員）	・大きなポジティブ予想はないが、ガソリン価格が下がったため、その分食費に回っている。
<input type="checkbox"/>	スーパー（支店長）	・際限なく物価が上昇し続けていることで、消費者の購買金額、買上点数が下降している。政治の状況によっては、減税策や経済対策を打ったところで期待は薄く、即改善につながるとは考えにくいいため、しばらく経済は横ばいになる。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（エリア担当）	・現政権の政策に期待するが、急に良くならない。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（店長）	・外国人旅行者が減ることにより、売上や来客数に本格的に影響が出る。カバーできる要素がないため、景気は悪くなる見込みである。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（店長）	・来客数がこれ以上大幅に減少することはないとみられる。今が最小であると想定し、現状を維持するだけで精一杯である。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（商品企画担当）	・春節を迎えるに当たり、前年と比較して、中国からのインバウンドは減少することが見込まれる。ただし、直近の傾向から、大きな影響はないと見込まれる。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（店長）	・建設業関連の客に今後の仕事量の展望を聞くと、仕事量は少ないとのことである。また、支出を減らすための節約志向は続いており、客は本当に必要な物だけを吟味して購入している様子で、過度な期待はしないようにしている。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（販売企画担当）	・少し好転の兆しはあるが、まだ弱い。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（売場担当）	・2～3月は1番の繁忙期である。今まで下見に来ていた客が、安いものやセット販売にしたものを購入することが多く、就職活動や入学、入社用のセット販売が1番多い。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（店員）	・購買意欲に大きな変化はみられず、現状維持の見込みである。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（経営者）	・3月までは現状が続く見込みである。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（経営者）	・現状物価対策の具体的な施策はなく不透明である。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（経営者）	・新車販売の状況は落ち着いており、上下する様子がない。金利が大幅に上がることがなければ現状のままである。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（経営者）	・特に変わる気配はない。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	・新車の販売が停止している以上、販売台数が増えることはない。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	・次回の衆議院選挙の結果次第で、どうなるか分からない。

<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	・通常ならば、年度末の決算時期は、お買い得な買物ができるため市場は活気付いていたが、自動車に関しては、来年度から環境性能割が非課税になる影響から、登録が抑えられる懸念がある。さらに、非課税の開始がはっきりしない状況で、販売促進に重しとなっている。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	・またガソリン価格が上がり始め、安いとはいえないという声を客から聞くようになった。中古車は非常によく売れているが、在庫に限りがあるため、いつまで続くか分からない。中古車の仕入れ相場が上がり始めたことが、中古車人気を裏付けている。ただし、新車の売行きが芳しくない状況では先行きが不安である。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	・明るい要素がない。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（販売担当）	・厳しい状況が続く見込みである。
<input type="checkbox"/>	住関連専門店（営業担当）	・予算価格が上がっていることで、工事の中断やトラブルの発生している現場があり、新築工事は下降気味である。ただし、中小規模の改修工事は多く出てきているため、トータルでは横ばいである。
<input type="checkbox"/>	その他専門店〔雑貨〕（店長）	・本地域は再開発に向けた街の変化があるため、ターミナル駅周辺地区だけで捉えると今後の見通しが立たない。
<input type="checkbox"/>	その他専門店〔書籍〕（社員）	・新年度向けの受注が、ある程度順調に増加する見込みである。
<input type="checkbox"/>	高級レストラン（経営企画）	・物価上昇の影響を受け、1月後半より節約モードに入り、メリハリの消費が顕著である。
<input type="checkbox"/>	その他飲食〔ワイン輸入〕（経営企画担当）	・客から、ガソリン価格が安くなった、ようやく米の価格が下がり始めたといった物価高に対する良い反応を聞くようになった。イベントの予約時などにそうした声が聞かれており、僅かではあるが消費マインドに良い影響を与えている。
<input type="checkbox"/>	観光型ホテル（支配人）	・中国からのインバウンド需要の回復が見通せない。また、衆議院選挙の結果による景気の動向が不透明である。
<input type="checkbox"/>	都市型ホテル（従業員）	・予約数から判断した。
<input type="checkbox"/>	都市型ホテル（営業担当）	・余り変わる要素がない。衆議院選挙の影響も限定的だと見込まれる。
<input type="checkbox"/>	旅行代理店（経営者）	・衆議院選挙の結果次第で、変動する。
<input type="checkbox"/>	旅行代理店（経営者）	・ターミナル駅前においても、賃貸料のより安価な所への移動や、完成後も長く空いているスペースが多くなっている。駅前という好立地の場所でも徐々に店舗数が減り、時間帯によっては人通りも減っている。
<input type="checkbox"/>	旅行代理店（営業担当）	・衆議院選挙の結果次第で、減税による物価高騰問題が解決すれば、旅行需要は一気に増える見込みである。一方で後回し状態が続くと旅行控えが生じ、景気後退へ進む可能性がある。今年は、ミラノ・コルティナオリンピック、WBC（ワールド・ベースボール・クラシック）、アジアカップなどの大型スポーツイベントが多数あるため、物価高騰を落着かせ、旅行者へのメリット出しや旅行需要の増加につなげたい。
<input type="checkbox"/>	旅行代理店（営業担当）	・団体旅行について、社員旅行等は年度初めに計画しづらい傾向があり、件数が少ない。
<input type="checkbox"/>	タクシー運転手	・客が繁華街に滞在する時間が長くなっている。駅に向かって乗車する客も少なくないが、終電が終わってからタクシーで帰宅する客もそれなりに存在し、長距離の利用が少なからずある。年末ほどの売上は望めないが、客足はある程度見込めるため、景気としては変わらない。
<input type="checkbox"/>	通信会社（サービス担当）	・携帯電話を利用している年齢層も変わりつつあり、固定電話の解約も増えている。
<input type="checkbox"/>	通信会社（営業担当）	・現状の流れを止めるきっかけが見当たらない。
<input type="checkbox"/>	観光名所（案内係）	・衆議院選挙があるためどうなるか分からないが、現政権が維持されても、すぐには景気に影響は出ない。
<input type="checkbox"/>	ゴルフ場（経営者）	・大手企業を除き、物価高に賃上げが追い付いていない。
<input type="checkbox"/>	パチンコ店（従業員）	・良くなる要素は特にない。
<input type="checkbox"/>	美顔美容室（経営者）	・ホワイトニング商品のセット販売とメイク用品の新色のキャンペーンがしばらく続く。
<input type="checkbox"/>	美容室（経営者）	・明るい話題がないため、しばらく今の状況が続く。

□	美容室（経営者）	・政治が不安定である。
□	住宅販売会社（従業員）	・当分大きな変化はない。
□	その他住宅〔室内装飾業〕（従業員）	・例年であれば年度末に向けて企業の設備投資案件引き合いが増えてくる時期だが、今のところ余りきていない。
□	その他住宅〔不動産賃貸及び売買〕（営業）	・繁忙期が終わってからが不安である。
▲	商店街（代表者）	・衆議院選挙の結果次第ではあるが、円安が進行し続けると、ますます物価高に拍車が掛かる。
▲	百貨店（売場主任）	・まだセールが続いている。スーツを購入した客がその後にシューズを見に来るが、スーツは買っても靴はもう少し様子見をするようで、決断する客は少ない。何足か試し履きをして、サイズの用意もあるが、悩んだ結果買わないというケースが多く、靴の売上は厳しい。高額商品を買う客もいるが、大体5万円前後の商品を探している客が多い。
▲	スーパー（店長）	・商品の値上げ要請が継続している。
▲	スーパー（店員）	・仕事量は変わらないが、人手不足のため、内容が厳しくなりつつある。
▲	スーパー（店員）	・原料コストに起因する担当カテゴリーの値上げが控えており、販売量に対して大きなリスクとなる。
▲	スーパー（販売担当）	・食料品の値上げが続くとみられることから、消費者は節約志向で無駄買いをしない。
▲	コンビニ（企画担当）	・来客数の減少が継続しているため、この状況が改善しない限り、前年割れが続く見込みである。
▲	コンビニ（店長）	・商品の値上げが止まらず、客離れに不安がある。売上は増えているが値上げの影響であり、おにぎりの単価が200円近くまで上昇しているため販売数減少のおそれが強い。競合他社も値上げしているため、コンビニ離れの加速が懸念される。
▲	コンビニ（本部管理担当）	・今後の小売業において、物価高による見掛け上の売上維持は限界を迎えており、企業努力のみではギリ貧となるおそれが極めて高い状況である。物価高に頼る現状は、将来の景気見通しを暗くするものであり、衆議院選挙を機に実体経済を根本から底上げする抜本的な経済対策が断行されることを期待する。
▲	衣料品専門店（経営者）	・おしゃれが好きで外出やイベントのたびに新しい服を購入してくれた常連客が、施設への入所などにより減少している。
▲	衣料品専門店（売場担当）	・2～3か月先は、食料品を始めとした販売価格が見直される時期である。今の状況を踏まえると、買い控えが起こり、個人消費が落ち込むと想定する。
▲	乗用車販売店（営業担当）	・1月の来客数が想定よりも少なく、受注見込みが増えていない。恐らく、4月からの減税措置予定が影響しており、買い控えが発生している。今年の2月～3月は期待できない。
▲	一般レストラン（経営者）	・年金生活者もそうでない人も、物価が高すぎてどうしようもないと話している。
▲	その他飲食〔仕出し〕（経営者）	・先行き不安で良くない。
▲	観光型ホテル（経営者）	・衆議院選挙が始まり今後の政局がどうなるかや物価高、金利高で先行きが不透明ななかで、景気を押し上げるような政策の効果が無い。このままでは前年並みの状態で停滞してしまう。次の政局次第ではあるが、現時点ではやや悪くなる見込みである。
▲	テーマパーク（職員）	・繁忙期の土日に解散や衆議院選挙が重なり、集客減が見込まれる。
▲	テーマパーク職員（総務担当）	・今後しばらくは大規模な催事がなく、例年この時期は十分な集客が得られない。回復傾向の有無については、次の春季イベントの結果により判断したい。
▲	パチンコ店（経営者）	・年始の繁忙期を過ぎ、閑散期を迎える。
▲	理美容室（経営者）	・客からは物価が上がり、生活が苦しくなっているという声を聞く。
▲	その他サービス〔介護サービス〕（職員）	・衆議院選挙はあるが、介護業界の緊急支援策が話し合われているなかで、人が集まらないのは他の介護職と同じであるが、福祉用具貸与事業は蚊帳の外である。介護業界の採用は難しく、他業界と比べると条件が見劣りする。

	▲	設計事務所（職員）	・衆議院選挙で景気が良くなるという声は聞かない。
	▲	その他住宅〔住宅管理〕（経営者）	・建築業界は人手不足の状況がまん延しており、この先仕事が増えても受注できなくなる。材料費の高止まりに加え、人手不足では先行きが見通せない。
	▲	その他住宅〔展示場〕（従業員）	・景気の変動が見込みにくい。前年度末は駆け込み需要があったため、その反動がある可能性もある。
	×	商店街（代表者）	・春節の時期であるが、中国からのインバウンドが来ず、金を落とす客がいらない。また、衆議院選挙で政治が止まる。首相の政策姿勢が景気に影響を与えると考えられるが、当店の売上状況は就任以降、低調で推移している。
	×	一般小売店〔生活用品〕（販売担当）	・価格高騰も続き、購買意欲が上がる材料が見当たらない。
	×	百貨店（経理担当）	・今春闘においてはこれまでと同じような賃上げ水準は望めないことに加え、インバウンド消費の低迷や物価の高止まりが続く。また、金利上昇により低所得層や中間所得層の消費が縮小し、景気は後退局面に移行する。
	×	スーパー（店員）	・競合店ができてから2か月くらいたつ時期であり、自店の来客数は現在よりも減少している見込みである。
	×	コンビニ（エリア担当）	・商品の値上げが止まることはなく、買い控えが続くような状態である。客単価の下落幅は少ないが、実態の購買意欲はかなり落ちてしまうことが懸念される。
	×	コンビニ（店長）	・年金暮らしの客は物価高で生活が苦しいと聞く。節約志向は続くと思込まれる。
	×	住宅販売会社（経営者）	・物価の上昇に消費者がついてこれられない。
	×	住宅販売会社（従業員）	・令和9年度の税制改正で、税務対策での賃貸住宅建築に歯止めがかかるかもしれないとの話がある。そうなった場合、一次的な駆け込み受注が増えるだろうが、その後が恐ろしい時代になることを危惧している。
企業 動向 関連  (東海)	◎	—	—
	○	食料品製造業（社員）	・衆議院選挙の動向にもよるが、積極的財政の効果が少しずつ出てくことを期待したい。
	○	化学工業（営業担当）	・A I 関連等、最先端技術に使用される電子材料薬液の需要は、今後も好調が見込まれる。
	○	電気機械器具製造業（企画担当）	・ガソリン以外に、米価もゆっくりではあるが下落傾向であり、消費者の懐具合に改善がみられる。新年度を迎えて進学、就職、転勤などに際しての消費拡大が期待できる。
	○	電気機械器具製造業（経営者）	・例年3～4月は設備投資が多いため、受注が増えると期待している。
	○	輸送用機械器具製造業（品質管理担当）	・製品の生産スケジュールでは、上向き傾向である。
	○	輸送業（従業員）	・特別積合せ貨物などの小口貨物の物量に大きな変化は見受けられないが、自社で取り扱うなかでは安眠グッズの取扱物量の増加が著しい。物価高により家計が苦しいといわれているなかでも、富裕層やバレンタインデー、ホワイトデーなどのギフト向け商材として購入する人が多く、今後の成長に期待している。
	○	輸送業（エリア担当）	・販売予測から判断した。
	○	輸送業（エリア担当）	・前年も2月の受注量が多かった。
	○	新聞販売店〔広告〕（店主）	・春を迎えて気候が落ち着けばそれなりに外出頻度も増え、収縮傾向から少し前向きな行動になる。新年度や新学期など変化を期待するならこの時期である。
	□	食料品製造業（経営企画担当）	・食料品に係る消費税減税の気運は高まってきたものの、実際の消費喚起効果は限定的である。
	□	パルプ・紙・紙加工品製造業（顧問）	・今月の景気はやや良いが、今後は特別に良くなる要素がないため、現状と変わらない。
	□	化学工業（総務秘書）	・景気に悪影響を与える特段のトピックがない限り、このままの状態が続くと思込まれる。衆議院選挙で政権政党が安定すると、景気には良い影響を与えることも想定される。
	□	窯業・土石製品製造業（社員）	・現在好調を保っている客先から、3か月先までの注文が入っており、しばらく好調が続く見込みである。
	□	一般機械器具製造業（経営管理担当）	・受注量、販売量の見込みから判断した。

□	建設業（経営者）	・首相の政策や実績については、現時点で評価が定まっておらず、今後の動向も不透明である。国民からの支持状況も明確ではなく、先行きが見通しにくい状況である。
□	輸送業（経営者）	・荷主企業は原材料、仕入品の値上げ対応に精一杯で、物流業者の値上げ要請は後回しになっている印象を受ける。このままでは新年度の賃上げの原資に苦しむことになる。
□	輸送業（従業員）	・これから3月の繁忙期を迎えるため、直近の3か月はこのままでもよいが、新年度の4月以降が問題である。荷主の値上げへの理解が欲しい。
□	輸送業（従業員）	・衆議院選挙の行方によって、一時的な回復につながると見込まれるが、長いスパンでの経済成長につながる政策が必要不可欠である。
□	通信業（法人営業担当）	・前年と比較すると、年末調整が随分と多く返ってきた実感がある。手取りが増えた分は、外国株や新興国国債などの金融商品に投資され、なかなか市場に回ってこない。
□	金融業（従業員）	・衆議院選挙があり、政治に関する話題は多い。ただし、人々の生活は変わらず、苦しい状況が続くと見込まれる。
□	金融業（従業員）	・現政権ではガソリン代が安くなるなどの明るい話題が多い。今回の衆議院選挙に際して、今後の景気がどうなるか期待感と不安感が半々である。
□	金融業（企画担当）	・大手企業だけでなく中小企業まで賃上げの動きが広まってこない、中小企業での賃上げは進まない。中小企業にまで賃上げが浸透すれば個人消費も伸び景気は良くなっていくが、そこに至るにはまだ時間を要する。
□	不動産業（経営者）	・今後も晴れの日が多くなりそうであり、外出や遠出をする人は増加する見込みである。今後も売上の増加傾向は継続し、前年を上回る状況が続く。
□	広告代理店（制作担当）	・春に向けての屋外イベントは寒さが予想されるため、企画が保留になっている案件もある。
□	公認会計士	・金利上昇、物価高、そして衆議院選挙と不確定要素が多く、特に金利上昇については企業の設備投資を控える動きがある。また、個人消費についても様子見の動きが出ることが予想されるため、景気は余り変わらない見込みである。ただし、企業の賃上げの状況によっては個人消費も動き出す可能性がある。
□	会計事務所（職員）	・賃上げがあっても社会保険料や税金が増加するため、手取りは余り増えない。景気が上向くまではいかない。
□	会計事務所（職員）	・前年末辺りから米国向け製品の受注量が減少しており、いつ回復するのか見通しが立たない。また、賃上げや物価高の影響により、今まで黒字で生産できていた製品を赤字又は利益が出ない状況で生産しなければならない状況となっている。
□	その他非製造業〔ソフト開発〕（経営者）	・衆議院選挙の結果は予測が困難であり、伸び悩む可能性も考えられる。
▲	食料品製造業（営業担当）	・受注数や販売数は減少している。
▲	金属製品製造業（従業員）	・今年はプロジェクトのはざ間である上に、地元ではターミナル駅再開発が事実上白紙となり、景況感の下がり気味で、業界での定番の話題になっている。
▲	一般機械器具製造業（営業担当）	・現在の設備投資は過熱気味で、この水準を維持することは難しい。
▲	電気機械器具製造業（営業担当）	・3月以降は見通しが立たず、悪化の可能性がある。
▲	電気機械器具製造業（経営者）	・年度末に向け、生産の調整が入る見込みである。また、例年は、年度末までに新規の問合せや生産計画はあるが、今期は新たなものはない。
▲	建設業（役員）	・建築費の高騰は止まる気配がなく、新聞やニュースにおいてもそのような報道が多い。もはや我が国の平均所得の会社員が新築住宅や新築マンションを購入するのは難しいくらいの販売価格になっている。
×	出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・物価が上昇しているのに手取りは上がらないため、消費者は皆買い控えをしている。景気は良くならない。
×	鉄鋼業（経営者）	・今年度中の新しい見積りなどが無い状況に陥っている。良くなる見込みはない。

	×	金属製品製造業（経営者）	・引き合いが減少しており、更に販売量の減少につながる。
	×	輸送用機械器具製造業（管理担当）	・衆議院選挙の後どうなるか分からない。
	×	通信業（総務担当）	・貯蓄もできず、心のゆとりがない、日々の生活で精一杯の状態が続いている。余暇を楽しめず、ただ生きているだけの毎日である。景気の上向きをとっても感じ取れない。
雇用 関連  (東海)	◎	—	—
	○	人材派遣業（営業担当）	・衆議院選挙の結果次第だが、政権が継続すれば、今後の景気向上へ向けた大きな期待ができる。
	○	民間職業紹介機関（窓口担当）	・例年の年度末は、求人数や求職者数が増加する見込みである。
	□	人材派遣会社（営業担当）	・変化がない。
	□	人材派遣会社（営業担当）	・年度末に向け、求人、求職共に増加する時期だが、求職者とのミスマッチが多く、採用数の増加は見込めない。
	□	人材派遣会社（営業担当）	・衆議院選挙の結果や公約の実行具合により変わる。
	□	アウトソーシング企業（エリア担当）	・当地域における大手自動車メーカーの国内生産台数が持ち直したこともあり、労働者派遣依頼が増え売上割合が増加したが、人件費の高騰、派遣する人手不足などにより収益の維持ができなくなったと耳にする。
	□	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	・2～3か月のスパンでは大きな変動はみられない。衆議院選挙の結果によっては、少し動きが出るかもしれないが、どこまでの影響があるかは未知数である。
	□	職業安定所（職員）	・新年度に向けた採用計画のなかで、新卒以外の中途採用枠が増加する見込みについては期待が薄い。
	□	職業安定所（職員）	・人手不足は変わらないが、輸送用機械器具製造業の求人数が前年比で減少した状況が続いており、自動車の電動化の影響により今後の雇用に影響が出る可能性がある。
	□	職業安定所（職員）	・管内の事業所への聞き取りでは、今後の受注、生産状況について横ばいとの回答が多数であった。
	□	職業安定所（職員）	・中小企業は長期にわたる原材料費、燃料費、運送費、人件費などの各経費の高騰が事業活動への大きな負担となっており、かなり厳しい状況である。一方で、受注が堅調な産業もあるが、人件費の上昇や物価高騰に伴う消費動向の停滞や経済動向の予測が困難な情勢への懸念等により、新たな求人提出を控え、引き続き様子見の産業も少なくない。求人提出を控えている産業はあるが、現在大きな生産調整や雇用調整などの情報は入っていないことから、当面景気動向の大きな変化は生じないと判断する。
	□	職業安定所（職員）	・エネルギー価格や原材料価格等の上昇は依然として著しく、売価に転換が追い付いていない。収益が向上しないため、中長期的な設備や人材への投資に踏み切れないという声がある。雇用については、現在人員の保持で手一杯であり、将来的な欠員補充を見据え状況を注視しているという声がある。
	□	職業安定所（職員）	・小売業を中心に求人数が増加する分野がある。一方で、引き続き原材料費や人件費の高騰による収益圧迫等により求人提出を控える産業分野があり、全体としての雇用情勢は現状と大きく変わらない。
	□	民間職業紹介機関（営業担当）	・例年と比べると転職活動を年始以降に開始する人がそこまで増えていない。4月入社に向けた採用決定数が増加する時期であるが、今期の見通しは不透明である。
	□	学校〔大学〕（就職担当）	・新卒求人について、今後2～3か月先に現状維持から大きく変化する要因が見当たらない。
	▲	人材派遣会社（社員）	・今月が良かった分やや悪くなる。現状の予約状況も余り良くない。
	▲	人材派遣会社（営業担当）	・自動車部品メーカーの電動化領域では2026年度の予算削減が決定し、自社も複数名の業務終了が決定した。
	▲	職業安定所（職員）	・物価上昇に耐えきれず廃業等を選択する企業が、今月も相次いで発生した。
	×	人材派遣会社（社員）	・同業他社との競合がより一層激化する可能性が高い。